

マンタ用留めピン〈トウプ〉(ケチュア語) A0207

クスコ/ペルー

アンデスの玉手箱ーペルー南高地の祭り和生活

参照資料

図録『アンデス文明』
p.81

取扱注意：

先がとがっています。
特に気をつけてお取り扱いください。



TUPU

インカ時代の女性の上衣は肩かけを胸の所で重ね合わせ、それを留めピンで留めるようになっていた。この伝統は現在も受け継がれている。

關先生からのひとこと

マンタ（マントのこと。A0205 などのようなもの）を留めるピンです。留めピンは、古い遺跡からも骨製や銅製のものが出てくるので、二千年以上に渡って使われてきたことがわかります。猫科動物は、ジャガーやピューマをはじめとして、古代から神さまのような扱いを受けてきました。そうした動物をかたどった工芸品は数多く見られます。